

# 第5学年 社会科学学習指導案

令和4年1月18日(火)

## 1 小単元名 情報を生かす販売業

## 2 小単元について

### (1) 教材観

本小単元は、平成29年に告示された学習指導要領社会編第5学年の内容(4)に基づいて設定した。

#### 内容

(4) 我が国の産業と情報との関わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解すること。

(ウ) 聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

#### 内容の取扱い

(4) 内容の(4)については、次のとおり取り扱うものとする。

イ アの(イ)及びイの(イ)については、情報や情報技術を活用して発展している販売、運輸、観光、医療、福祉などに関わる産業の中から選択して取り上げること。その際、産業と国民の立場から多角的に考えて、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について、自分の考えをまとめることができるよう配慮すること。

本小単元では、産業における情報活用の現状を捉えながら、我が国の産業と情報との関わりが、国民生活の向上につながっていることを理解する学習内容となっている。

そこで、本小単元の学習教材として、販売業を扱う。その中でも、中心教材として扱うのはショッピングセンターとコンビニエンスストアである。ショッピングセンターの多くは大型商業施設であり、複合商業施設としての機能をもっているため、その点も関連付けて扱っていきたい。なお、ここでいう複合商業施設とは、ショッピングセンターやショッピングモール等を指している。

大型商業施設を事例として扱う理由は以下の通りである。

①複数の事例を取り上げることで、児童がより多角的に産業の発展を理解できること

教科書では、コンビニエンスストアを事例に、学習を進める展開が提示されている。

確かに、コンビニエンスストアは多くの消費者が利用するが、生活の基盤となっているとはいいがたい。そこで、ショッピングセンターの事例を加えることで、より消費者の実生活に即した例として示し、児童にとってより身近に感じることができるようにしたい。

今回扱うショッピングセンター内には、スーパーマーケットも含まれている。本小単元を後述する展開で進めることで、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、ショッピングモールといった多くの事例に触れることができ、より幅広く産業における情報活用の現状を捉えることができる。

②母体が大規模であり、多様で大量な情報を扱っていること

今回取り扱うショッピングセンターは、全国に店舗を展開している。施設内には、専門店が軒を連ねており、いわば、未来の商店街といった様相を呈している。各店舗や施設内が情報を通じてどのように連携しているかを捉えることで、それらがいかに消費者のニーズに合致しているかを考えることができるようにしたい。

③様々なサービスが、一施設内に含まれていること

情報を活用したサービスは、アプリの活用、銀行サービス、他店舗との連携など、数多くある。例えば、多くのショッピングセンターには、大型スーパーマーケットが入っている。さらに、インターネットショップともつながることで、インターネットを介してのつながりも捉えることができる。

なお、スーパーマーケットの学習と区別するため、あくまでも、情報を活用している様子に重点を置いて示していく。

## (2) 児童観

(略)

## (3) 指導観

教材観、児童観を踏まえて、以下を重点化し、小単元計画や本時の授業の中に組み込んでいく。

①複数の事例を教材化することにより、学習内容の理解をさらに深めること

教科書では、コンビニエンスストアの情報活用の事例を取り上げている。そこに、児童にとって身近なショッピングセンターの事例も教材として加え、2つの販売業の様子を比較・関連・総合する活動を取り入れたい。複数の事例を取り上げることにより、「大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていること」についてさらに理解を深めたい。

②学習過程を工夫することにより、情報を活用した産業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上を関連付けて考えることができるようにすること

小単元の導入においては、消費者が仮想の商店で不便を感じている様子を提示し、消費者の視点から情報を活用した店の改良策を考える活動を行う。消費者の具体的な生活の様子から考えることで、情報を活用した産業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上を関連付けて、学習問題をつくりたい。また、小単元の終末においては、再度、消費者の視点と商店の視点から、情報を活用した産業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上を関連付けて、学習問題の結論を考えることができるようにしたい。

③毎時間の振り返りを積み重ねることにより、児童自身が変容を実感できるようにすること

本学級の児童は、第3・4学年の社会科の学習や、これまでの第5学年の学習を

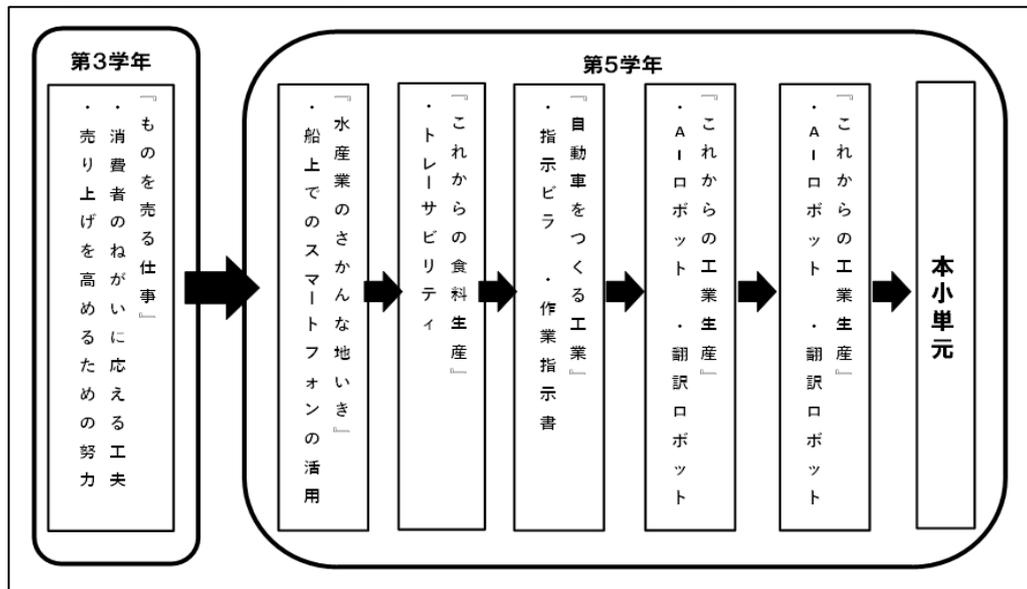
踏まえ、新しい学習に取り組むことができている。既習を想起する発問をする等、既習とのつながりを意識することができるようにしていきたい。また、学習問題や学習計画、毎時間の振り返りを一枚のワークシートに記入していくことで、児童自身が変容を実感できるようにしていきたい。

④学習内容の系統性を意識することにより、学習内容の理解をさらに深めること

以下の【資料】に示すように、第3学年から第5学年までの学習内容の系統性を意識していく。例えば、第3学年において、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう工夫していることを学習してきている。本小单元でも、情報を活用することは、消費者の利便性の向上につながるとともに、店側の売り上げを高めることにもつながることを捉えていく。

なお、本小单元では、ショッピングセンター内にあるスーパーマーケットを取り扱う。その際、第3学年で学習した工夫と重ならないよう、情報を活用している事例に限定して捉えていくことに留意したい。

【資料】商業及び情報を活用した産業に関する学習内容の系統図



⑤1人1台端末を活用することにより、主体的・対話的で深い学びを実現すること

児童一人一人が考えたことを記入したり、グループや学級全体で共有したりする場面等で1人1台端末を積極的に活用することにより、主体的・対話的で深い学びを実現していきたい。また、児童一人一人の考えを教師が即時に見取ることにより、指導に生かしていきたい。さらには、児童一人一人の考えや振り返り等を蓄積することにより、評価にも生かしていきたい。

### 3 小单元の目標と評価規準

#### (1) 目標

我が国の産業と情報との関わりについて、情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、聞き取り調査をしたり、映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりしてまとめることで、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を多角的に考え、表現することを通して、大量の情報や情報通信技術の活用は、さまざまな産業を発展させ、国民生活を向上

させていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し解決しようとする態度や、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考えようとする態度を養う。

## (2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①情報の種類、情報の活用の仕方などについて、聞き取り調査をしたり映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、産業における情報活用の現状を理解している。</p> <p>②調べたことを図表や文などにまとめ、大量の情報や情報通信技術の活用は、さまざまな産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解している。</p>	<p>①情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して問いを見だし、産業における情報活用の現状について考え、表現している。</p> <p>②情報を活用した産業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上を関連付けて、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、学習したことをもとに産業と国民の立場から多角的に考えて情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考え、表現している。</p>	<p>①大量の情報や情報通信技術の活用について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し解決しようとしている。</p>

## 4 小単元の指導計画と評価計画（7時間扱い）

	○学習活動 ・ 学習内容	・ 指導上の留意点 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価</span>	資料等
つかむ	<p>①情報活用の視点を基に、販売業の特徴を話し合い、学習問題をつくる。</p>	<p>◇ 内は評価の方法を表す            〈ノ〉 ノート 〈発〉 発言            〈ワ〉 ワークシート</p>	<p>・ 既習の情報を活用した産業の事例</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>あるお店が、どのように情報を活用すればよいのかを考えて、学習問題をつくらう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮想の商店で、買い物をする消費者の行動</li> <li>・ 買い物をする際に、消費者が不便に感じる事</li> <li>・ 仮想の商店の改良策についての話し合い</li> </ul>		

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショッピングセンター(モール)での情報活用の事例 ※以後、ショッピングセンターは、SCと表記。</li> <li>・コンビニエンスストアでの情報活用の事例 ※以後、コンビニエンスストアは、コンビニと表記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい商店として考えたものは、コンビニやSC(モール)で実現していることを知る。</li> <li>・実際の販売業の様子から、疑問を想起し、学習問題をつくる。 【思・判・表①】 販売業における情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、学習問題を考えている。 〈ノ・発〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SCの様子や、情報活用の取組がわかる写真</li> <li>・コンビニの情報活用の取組がわかる写真</li> </ul>
<p><b>学習問題</b></p> <p>はん売の仕事をする人々は、どんな情報を、どのように生かしているのだろうか。また、それによって消費者の生活は、どのように変化しているのだろうか。</p>		
<p>②学習問題に対する結論を予想し、小単元の学習計画を立て、小単元の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の資料を基に、前時の学習と、学習問題を振り返り、課題設定を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に提示した資料</li> </ul>
<p>学習問題の結論を予想し、学習計画を立てよう。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習問題の結論を予想する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の復習</li> <li>・学習問題の確認</li> <li>・学習問題の結論の予想</li> </ul> </li> <li>○予想したことを出し合い、共有する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えの共有</li> <li>・予想の拡充</li> </ul> </li> <li>○学習問題を解決するための学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーマーケットの取組</li> <li>・SCでの取組</li> <li>・各種サービスの取り扱い方</li> <li>・コンビニの取組</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんな情報」と「どのように活用」の視点の整理をし、区別して予想できるようにする。</li> <li>・予想の段階なので根拠は強く求めないが、広がりすぎないように整理していく。</li> <li>・予想を基に、学習問題の結論にたどり着けるかを確認しながら、計画を立てる。 【態①】 現代の販売業の様子について、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。 〈ノ・発・ワ〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシート</li> </ul>

調 べ る	③ S C内にあるスーパーマーケットでの情報を活用した取組を調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に基づいて、調べ学習を進めていくことを確認し、主体的な学習となるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ S C内のスーパーマーケットの写真</li> </ul>
	ショッピングセンター内のスーパーマーケットでは、どんな情報を、どのように活用しているのだろうか。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフレジの活用</li> <li>・ A Iの活用</li> <li>・ P O Sシステムの活用</li> <li>・インターネットショッピングの活用</li> <li>・他店舗とのポイント共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような情報が、どのように消費者の利便性につながっているかを考えられるようにする。</li> <li>・ポイントの共有は、後の学習でも調べることを告げ、ここでは触れる程度に留める。</li> </ul> <p><b>【知・技①】</b> 現代の販売業の様子について、映像や写真資料等から読み取り、情報活用の現状を理解している。 〈ノ・発〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフレジを使用している動画と写真</li> <li>・ A Iの活用事例</li> <li>・ P O Sシステムの詳細</li> <li>・インターネットショッピングの詳細</li> <li>・ポイント付与の資料</li> </ul>
	④ スーパーマーケット以外の S C内での情報を活用した取組を調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーマーケットと同じ施設内を見ていくことを確認し、スーパーマーケットとの連携も想起できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーマーケット以外の S C内の様子がわかる写真</li> <li>・施設の大きさがわかる資料</li> <li>・ S C内の情報端末の詳細と写真</li> </ul>
ショッピングセンターでは、たくさんのお店がある中、情報をどのように活用しているのだろうか。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗の位置や情報がわかる情報端末</li> <li>・混み具合がわかる情報掲示板</li> <li>・モール内の商品が検索できる端末</li> <li>・他店舗とのポイントの共有</li> <li>・独自アプリの開発と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模な施設内において消費者がより買い物がしやすいよう、情報が活用されていることを捉える。</li> </ul>		

<ul style="list-style-type: none"> <li>・銀行サービスとの連携</li> </ul> <p>⑤コンビニの情報活用に関わる取組を調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で触れたポイントは、店舗間をつなぎ、消費者にとって利便性の高いシステムであることをつかむ。</li> <li>・独自アプリは、これまでの学習のポイントや、他店舗との連携を包括的に支えるサービスであり、既習の学習とのつながりがある点をおさえる。</li> <li>・銀行サービスは、仕組み等に深入りせず、情報を共有することで、消費者の利便性が増している点を捉える。</li> </ul> <p><b>【知・技①】</b> 現代の販売業の様子について、映像や写真資料等から読み取り、情報活用の現状を理解している。 〈ノ・発〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を活用して、学習を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混み具合がわかる掲示板の写真</li> <li>・ポイント共有システムの詳細</li> <li>・SC内の銀行の写真</li> <li>・実際のアプリの起動画面</li> </ul> <p>・第1時に提示したコンビニの様子の写真</p>
<p>コンビニエンスストアでは、どんな情報を、どのように活用しているのだろうか。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子マネーやポイントカード</li> <li>・POSシステムの活用</li> <li>・タブレット端末を活用した商品の発注</li> <li>・商品生産、輸送との連携</li> <li>・ネットショッピングの活用</li> <li>・銀行サービスとの連携</li> <li>・コピー機のサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる対象を3つに分け、エキスパート学習を行う。</li> </ul> <p>①情報を活用した販売を調べるグループ</p> <p>②情報を活用した運送を調べるグループ</p> <p>③情報通信技術を活用したサービスを調べるグループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子マネーの詳細</li> <li>・POSシステムの詳細</li> <li>・商品管理、発注の詳細</li> <li>・店舗以外との連携</li> </ul>

<p>⑥コンビニの情報活用に関わる取組で調べたことを、共有し、まとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時は、個人で調べる時間と、同じ対象を調べるエキスパートで情報を共有する時間に留め、次時にまとめることを確認する。</li> <li>【態①】 現代の販売業の様子について、予想や学習計画を基に、主体的に学習問題を解決しようとしている。 〈ノ・発・ワ〉</li> <li>【知・技②】 現代の販売業の様子について、図表や文などにまとめ、情報活用の現状を理解している。〈ノ・発〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・の詳細</li> <li>・インターネットショップの詳細</li> <li>・銀行サービスの詳細</li> <li>・コピー機の機能の詳細</li> </ul>
<p>コンビニエンスストアでは、どんな情報を、どのように活用しているのだろうか。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニの情報活用の取組の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に調べを進めたエキスパートの学習を、グループ内で共有する。</li> <li>・共有する際には、タブレット端末のカード機能を使い、ノートの写真を送り合い、確認する。</li> <li>・学級内で、コンビニの取組を共有する。</li> <li>【思・判・表①】 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目し、販売業における情報活用の現状について考え、表現している。 〈ノ・発〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に各自が調べ、まとめたコンビニの情報活用に関わる情報</li> </ul>

<b>ま と め る</b>	⑦学習してきたことを話し合い、学習問題の結論をまとめる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシート</li> <li>・これまでの学習で調べたこと</li> </ul>
	ショッピングセンターとコンビニエンスストアの情報の活用の仕方の共通点を考え、学習問題の結論を考えよう。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題の結論（個人の考え）</li> <li>・SCの情報活用の取組</li> <li>・コンビニの情報活用の取組</li> <li>・SCとコンビニの情報活用の取組の共通点</li> <li>・学習問題の結論</li> <li>・第1時に提示した仮の商店</li> <li>・消費者の利便性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに調べてきた、SCの情報活用とコンビニの情報活用を整理し、その共通点を考えられるよう、ベン図を用いる。</li> <li>・第1時に提示した仮想の商店を改良し、情報を活用することで、消費者にとってより利便性の高い店舗にする。</li> </ul> <p><b>【態①】</b> 現代の販売業の様子について、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。〈ノ・発・ワ〉</p> <p><b>【思・判・表②】</b> 情報を活用した販売業の取組と、人々の生活の利便性の向上を関連付けて、それらが人々の生活に果たす役割を考えている。 〈ノ・発〉</p>	
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p><b>学習問題の結論</b></p> <p>はん売の仕事をする人々は、消費者の消費に関わる情報や、商品に関わる情報などを、商品の管理や、消費者へのサービスの向上に活用し、発展してきた。それらの情報は、人々の生活をより便利にし、人々の生活を大きく支えている。</p> </div>			
	・小単元の学習の振り返り		

## 5 本時の学習指導 (1/7)

### (1) 目標

○販売業における情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、学習問題を考えることができる。【思考力、判断力、表現力等】

## (2) 展開

学習活動・学習内容	・指導上の留意点 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価</span> ＜方法＞	資料等	時間
<p>1 前小単元や、これまでの学習を振り返る。</p> <p>2 情報活用の視点をもって、販売業の様子を捉えていくための課題設定を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>あるお店が、どのように情報を活用すればよいのかを考えて、学習問題をつくろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大単元のキーワードである、「情報化」を確認し、本小単元では情報と産業との関係を学習していくことを意識できるようにする。</li> <li>・前小単元と違いとして、販売というメインの業種と、情報との関わりについて考えられるよう区別する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業でスマートフォンを使う様子</li> </ul>	<p>2</p> <p>3</p>
<p>3 仮想の商店で買い物をする消費者の様子を読み、情報を活用するお店にするための工夫を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮想の商店（東っ子商店）で、困りながらも買い物をする消費者の様子を捉え、消費者がよりよく買い物できるよう、店側ができる改善策を考える。</li> <li>・消費者自身の行動は変えないように促す。</li> <li>・タブレット端末を活用し、電子データ上に書き込んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮想の商店での買い物の様子</li> </ul>	<p>7</p>

**東っ子商店での消費者の様子**

Aさんは、近所でもとても大きな東っ子商店に車で買い物に行くことにしました。東っ子商店の駐車場は、よく混みます。どれだけ混むかわからないので、早めに家を出ました。なかなか空いている場所が見つかりません。やっと、空いている場所を見つけ、車をとめてから店内に入りました。

じゃがいもとノート、それと、雑誌で見かけたくつを買うため、探しました。しばらく歩いて、じゃがいもとノートはありましたが、くつは見つかりませんでした。仕方なく、じゃがいもとノートだけを買うことにしました。

レジに並びましたが、そこで、サイフの中のお金では足りないことに気づきました。そこで、一度商品を戻し、店を出て銀行に行くことにしました。

銀行でお金をおろし、もう一度東っ子商店に行きました。買うはずだった商品を探していると、もう、じゃがいもは売り切れでした。

あきらめて、ノート売り場に行くと、ほしかったノートも売り切れていました。しかたなく、別のノートに変えようと悩んでいると、どんどん時間が過ぎてしまいました。

ようやくノートを選び終え、またレジにならびましたが、悩んで時間をかけ過ぎてしまったせいで、レジはさっきよりも混んでいました。

その後、引っ越しの手続きに使う、住民票(自分の住所などが書いてある大切な書類)を発行しに、市役所に行きました。しかし、買い物に時間がかかったせいで、市役所はもうしまっていました。

Aさんはあきらめて、しょんぼりしながら家に帰りました。

<p>4 消費者にとって、よりよく情報を活用するお店にするためのアイデアを、学級で出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい店の改善策</li> <li>・情報化の視点</li> <li>・消費者の利便性</li> <li>・他者の考え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き込んだ内容はタブレット端末を活用して共有し合い、学級の考えとしてまとめていく。</li> <li>・重複する内容は省きながら、それぞれの改善案を共有し合う。</li> <li>・児童が、情報化の視点で改善策を考えている案について、抜粋し、板書していく。</li> <li>・消費者の利便性を考えることはもちろんだが、売り上げ等に配慮し、店側にとってもよりよい店にできないかを考えることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮想の商店での消費者の様子を電子版</li> <li>・個人の考えが記入された電子データ</li> </ul>	8
<p>5 SCやコンビニの取組を知り、疑問に感じたことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SCの情報活用の事例</li> <li>・コンビニの情報活用の事例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が考えた情報活用の取組は、実際の店舗で行われていることを告げる。</li> <li>・SC内のスーパーマーケットを提示する際には、第3学年の学習を想起しつつ、情報活用の視点からは外れないように留意する。</li> <li>・資料は、タブレット端末を活用し、児童に配布する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SC内の様子</li> <li>・防犯カメラ</li> <li>・店内案内用の情報端末</li> <li>・レジやセルフレジ</li> <li>・電子マネーの入金機</li> <li>・銀行サービスの様子</li> <li>・現在のコンビニの写真</li> </ul>	1 1
<p>6 出し合った疑問から学習問題をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SC内の様子やコンビニ内の様子から、児童の気づきや疑問を整理していく。</li> <li>・児童の予想としての意見については疑問の形に変えていく。</li> </ul> <p><b>評</b> 販売業における情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、学習問題を考えている。</p> <p>【思・判・表①】〈ノート・発言〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「疑問に思ったこと」を中心に、学習問題をつくる。</li> </ul>		1 2
<p><b>学習問題</b></p> <p>はん売の仕事をする人々は、どんな情報を、どのように生かしているのだろうか。また、それによって消費者の生活は、どのように変化しているのだろうか。</p>			

7 次時の学習の見通しをもつ。	・次時で、学習問題の結論を予想することを告げる。	・振り返りシート	2
-----------------	--------------------------	----------	---

## 6 板書計画

### 情報を生かす販売業

か あるお店が、どのように情報を活用すればよいのかを考えて、学習問題をつくろう。

東っ子商店での買い物をする

**Aさん**

以下、指導案上の「東っ子商店での消費者の様子」と同様

情報を活用するお店だったら・・・

- 駐車場の混み具合は、事前に確認できる。
- 商品の売り場は、機械で検さくし、探せる。
- 現金がなくても買える。
- 銀行に行かなくても、お金をおろせる。
- 売り切れがでないよう、管理されている。
- 客が悩んでいると機械が店員に声をかけるよう教える。
- レジが混みにくい。
- 市役所に行かなくても、書類が発行できるサービスがある。
- そもそも家で、買い物ができる。

児童からでた疑問

学習問題

はん売の仕事をする人々は、どんな情報を、どのように生かしているのだろうか。  
また、それによって消費者の生活は、どのように変化しているのだろうか。